

COVID19ワクチン 3回目接種を受けましょう！

背景：日本国内で2回COVID19ワクチン接種者は、2021/11/13時点で75%にのぼります¹⁾。

海外でも同様にワクチン接種が進んでいる国もありますが、それでもCOVID19流行を完璧には抑えられません。理由は、①世界で流行しているデルタ株は、従来株に比べてワクチンの効果が低い²⁾。②ワクチンによる抗体価は時間とともに減少する³⁾。健康な若年者はワクチン2回接種から時間がたっても、重症化リスクは低いままですが、COVID19に感染するリスクは上がってきます。高齢者や免疫力が低い人（免疫抑制剤使用中、がんの治療中、肥満、透析の方など）は、2回のワクチン接種効果が低いこともわかっています⁴⁾。3回目のワクチン接種を受けることで、さらに重症化/感染阻止効果が上昇します⁵⁾。

目的：3回目のワクチン接種の目的は、

- ①個人のCOVID19重症化/感染阻止効果を上げるため
- ②病院職員が感染しにくい状態を作ること、ワクチン効果の落ちている（受けていない）患者さんにCOVID19感染を広げないようにするため
- ③病院職員が感染しにくい状態を作ること、県の基幹病院である当院の機能を落とさないため

副反応：

3回目のワクチン接種による副反応は、2回目接種と変わらないことが分かっています。

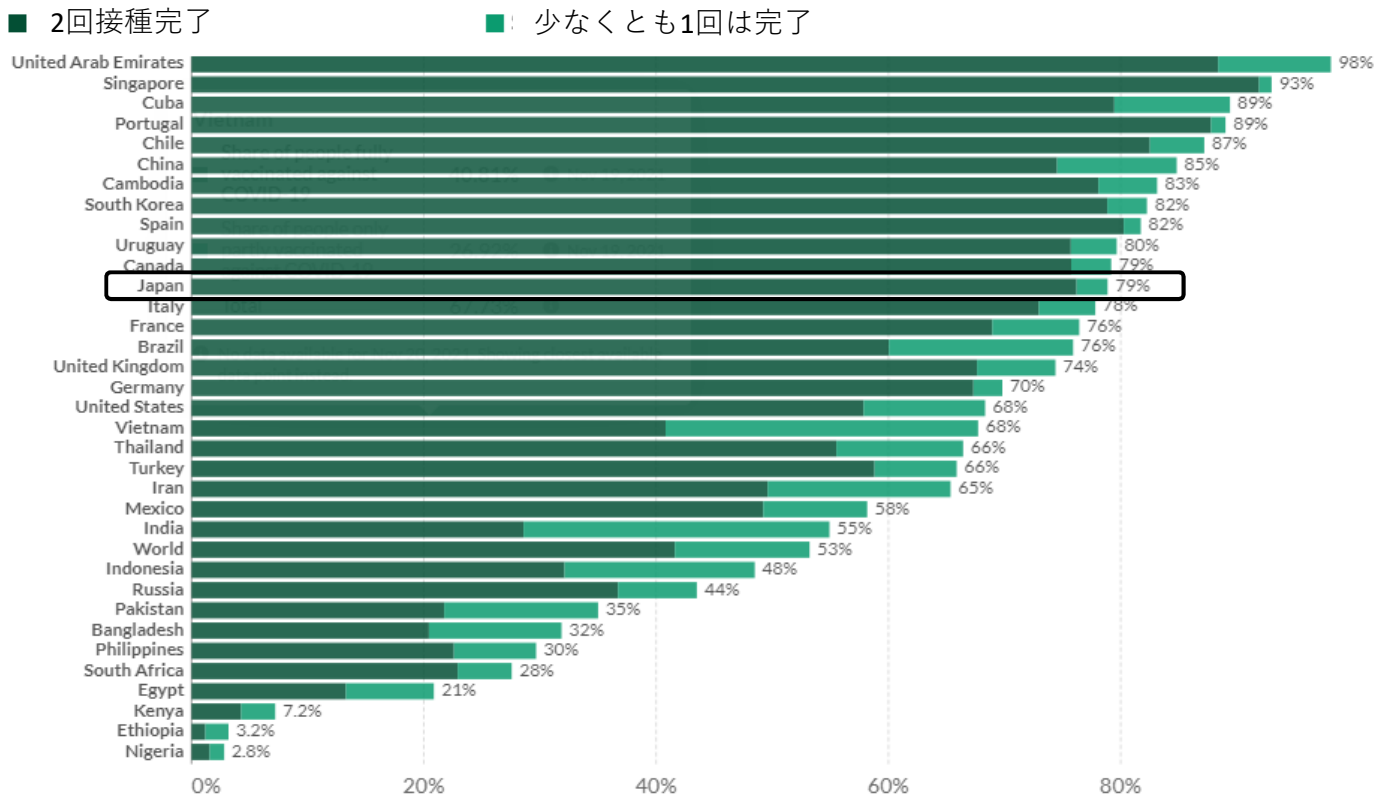
他新しい知見として

- 1) ファイザーワクチン、モデルナワクチンは、心筋梗塞や脳梗塞などを起こしにくい⁶⁾。
- 2) まれながら若年男性を中心に心筋炎を起こすことがあるが、軽症で終わる。(D. Mevorach, et al. NEJM Oct 6, 2021)
- 3) 妊婦さんも安全に接種できる。
- 4) 5歳以上の小児にも安全に接種できる。

1) 2021年11月20日時点の、世界各国のワクチン接種状況(人口比%)

Share of people vaccinated against COVID-19, Nov 20, 2021

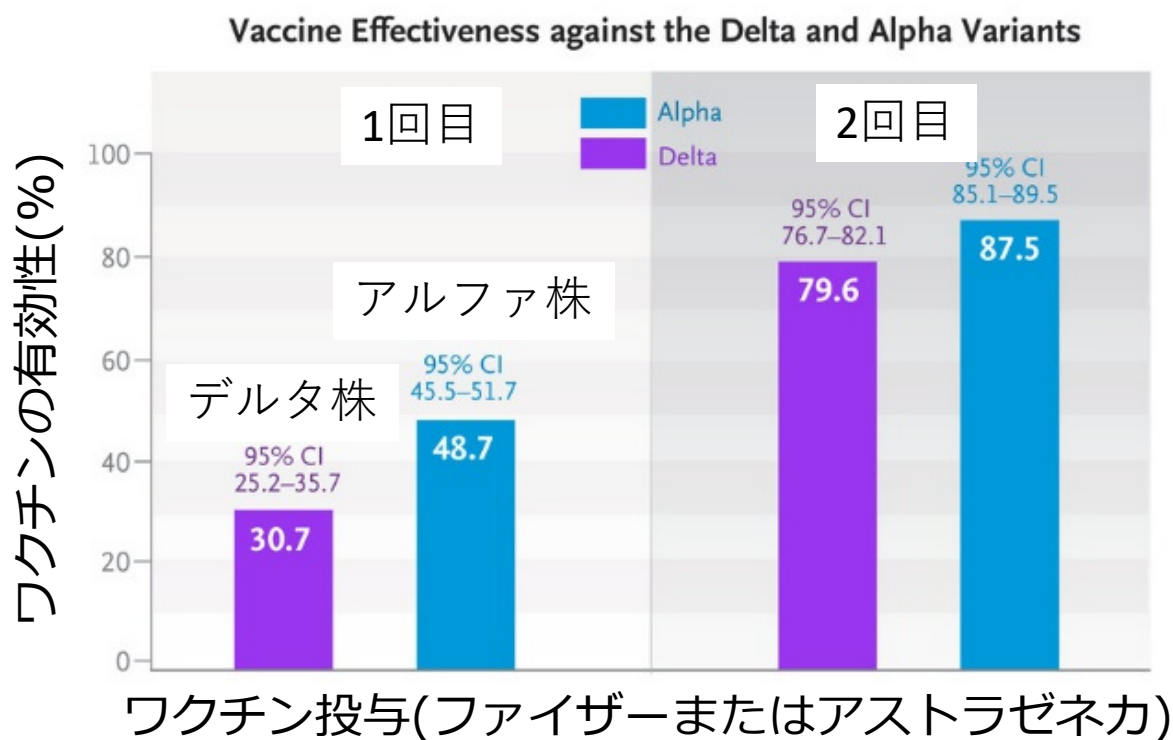
Alternative definitions of a full vaccination, e.g. having been infected with SARS-CoV-2 and having 1 dose of a 2-dose protocol, are ignored to maximize comparability between countries.



Source: Official data collated by Our World in Data. This data is only available for countries which report the breakdown of doses administered by first and second doses in absolute numbers.
CC BY

日本は人口の約80%が少なくとも1回接種完了

2) デルタ株は従来株よりワクチン効果が低い (N Engl J Med 2021; 385:585-594より図を改変)



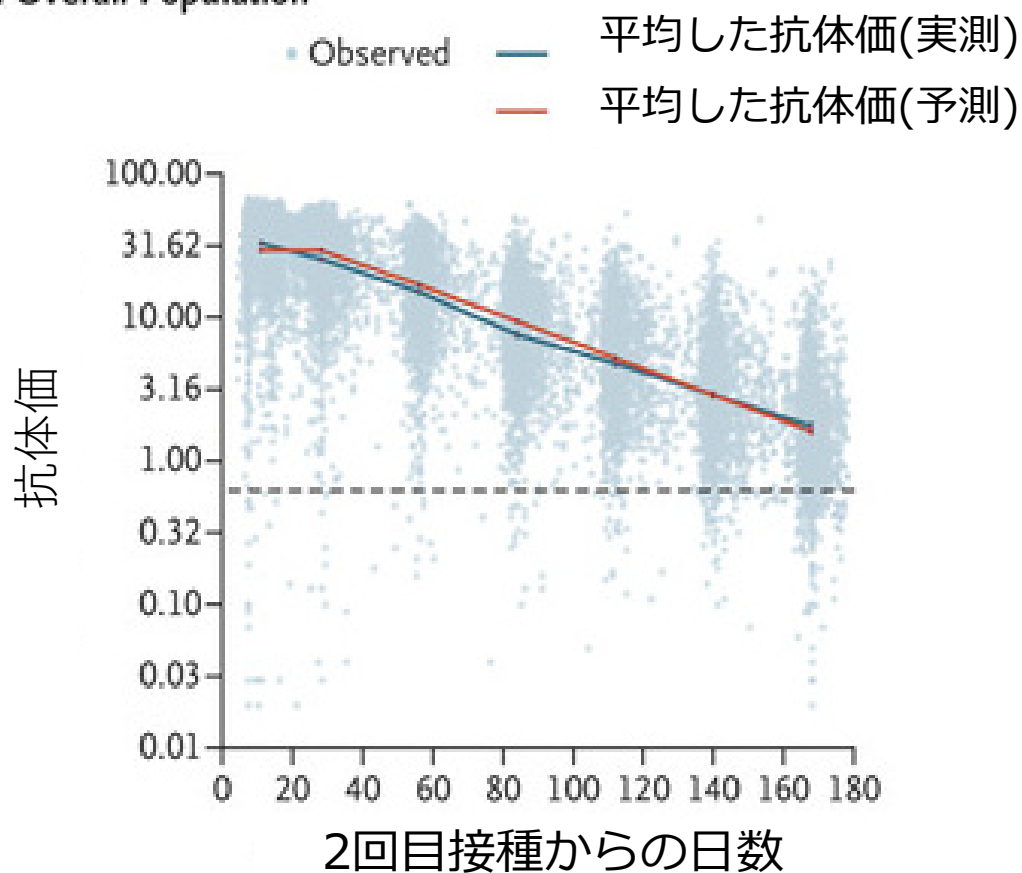
→アルファ株、デルタ株ともに野生株の報告よりも有効性が低くなっている

ワクチン別 2回接種後のデルタ株に対する有効性

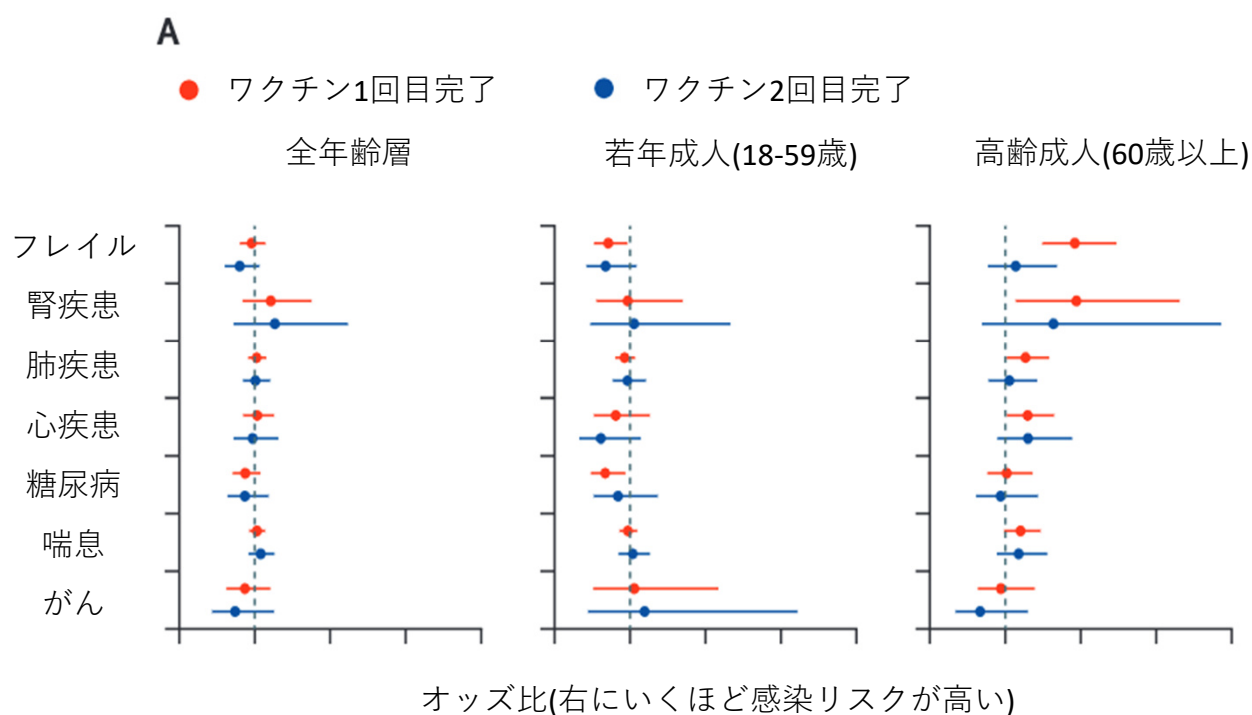


3) ファイザーワクチンによる抗体価は時間とともに減衰する
(NEJM Einav G et al. Oct. 6, 2021より、図を一部切り取り)

A IgG in Overall Population



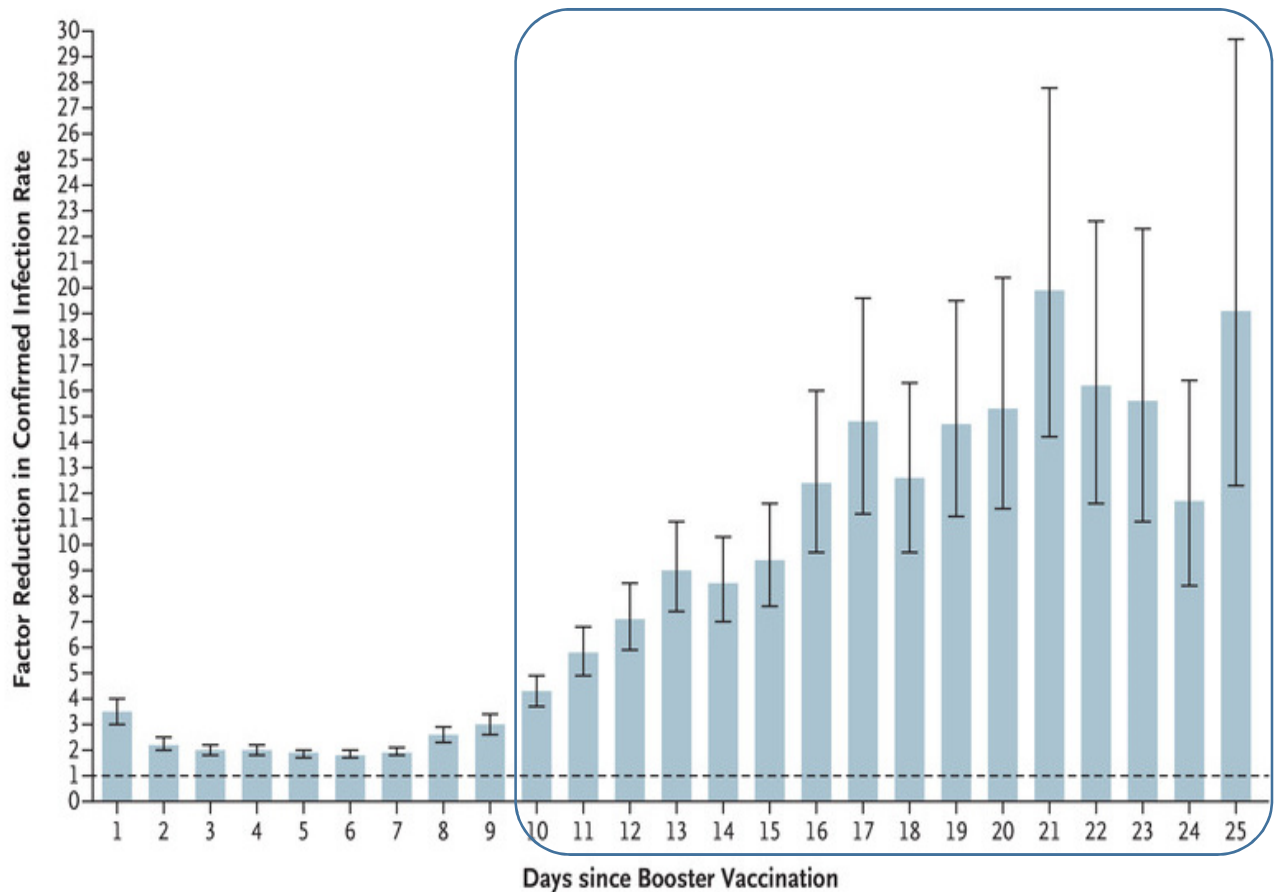
4) ワクチン2回打った後のブレイクスルー感染



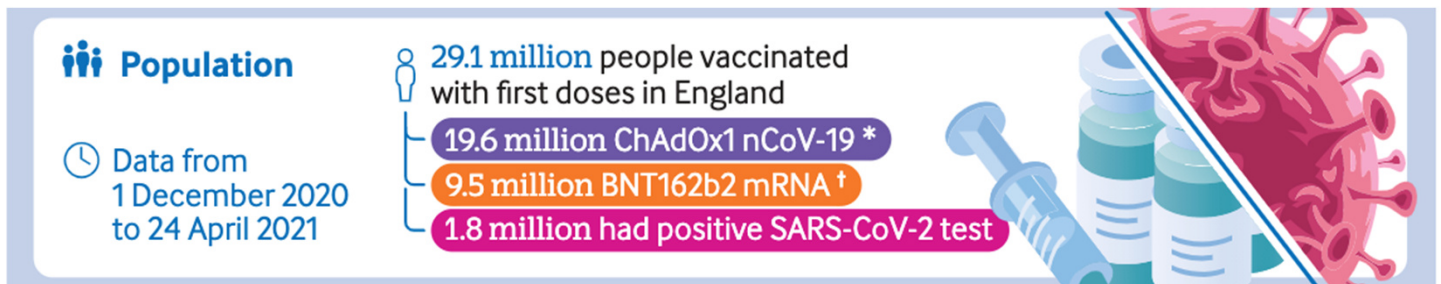
ブレイクスルー感染は高齢者(特にフレイル)、腎障害、基礎疾患のある人に多い。

(Michela Antonelli, et al. Lancet Infect Dis Sep. 1, 2021より 一部抜粋)

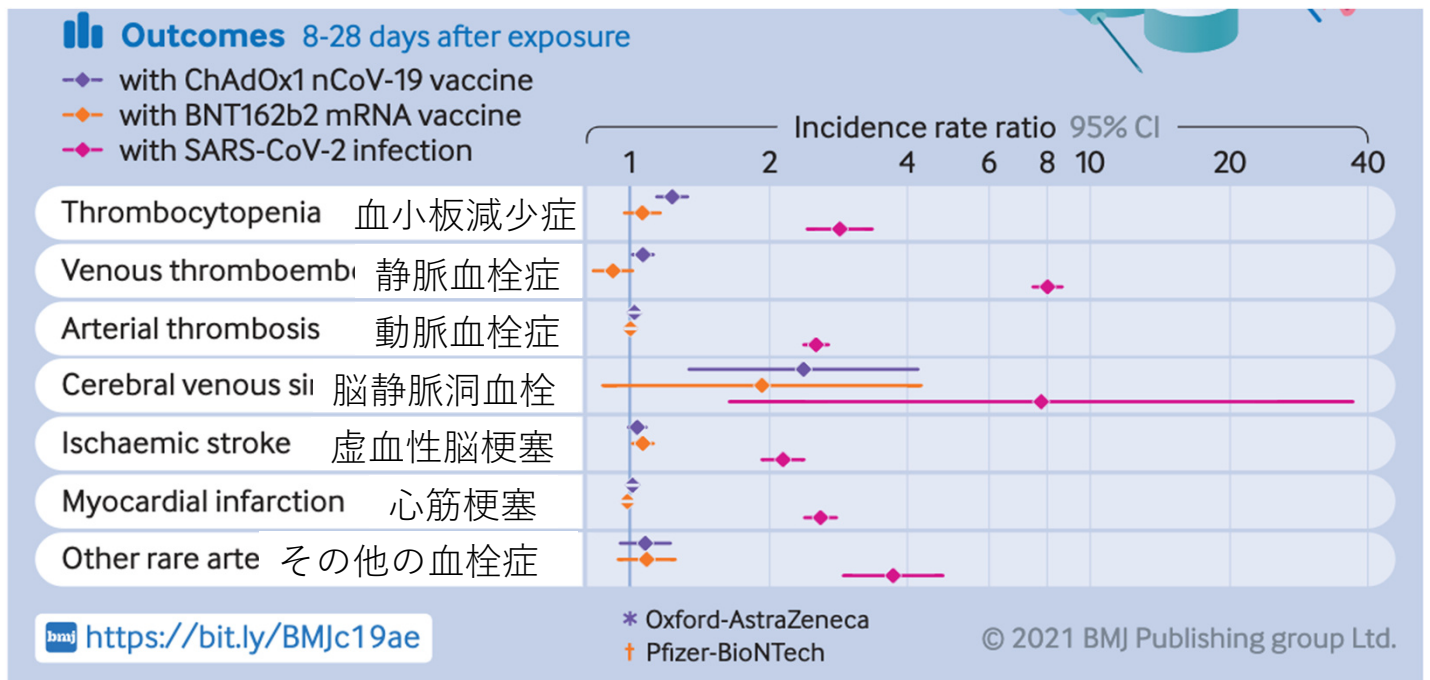
5) 3回目のブースター接種をすると、約10日後から感染阻止効果が上昇
(N Engl J Med 2021; 385:1393-1400の図を一部改変。イスラエル、
60歳以上を対象とした研究)



6)COVID19にかかる方が、血小板減少、血栓症、虚血性心疾患などは起こりやすい。ファイザーワクチンでその発症率は大きく変わらない。(BMJ 2021;374:n1931)



イングランドでは、
 1960万人がアストラゼネカ1回目接種済み(青)
 950万人がファイザー1回目接種済み(オレンジ)
 180万人がコロナウイルスに罹患(赤)



上記の人々の血小板減少、血栓症、虚血性心疾患の発症率を比較すると
 いずれかのワクチンを打った人は発症リスクの増加はなかった
 COVID-19にかかった人の発症リスクは通常の2-8倍になった